

## 組織・細胞中のCD30の染色に!

**NEW CD30 (JCM182) モノクローナル抗体**  
 (動物種: マウス)

コード: 418311 希釈済抗体 包装: 50テスト(6mL) ¥30,000

## 特異性および抗原分布

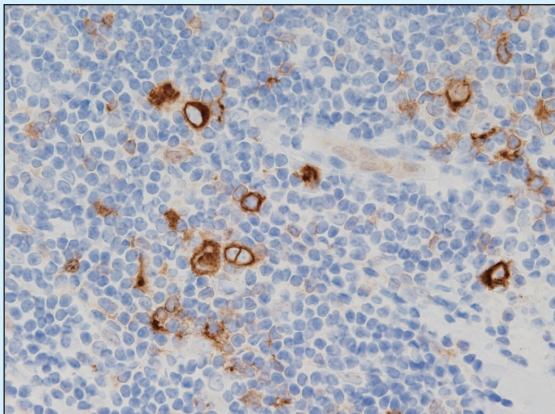
■ TNF レセプタースーパーファミリーに属する I 型膜貫通性の糖タンパクである CD30 抗原と特異的に反応する<sup>(2)</sup>。正常では活性化 B 細胞、活性化 T 細胞に発現がみられ、非活性化 T 細胞や単球にはみられない<sup>(2)</sup>。腫瘍では古典的ホジキンリンパ腫 (CHL: classic Hodgkin lymphoma) のホジキン細胞、Reed-Sternberg 細胞や、未分化大細胞型リンパ腫 (ALCL: anaplastic large cell lymphoma) などに発現がみられる<sup>(2)(3)</sup>。また、HIV、EBV などに感染した細胞<sup>(4)</sup> や胎児性癌、悪性黒色腫などにもみられる場合がある<sup>(1)(2)(5)</sup>。染色は、細胞膜および核近傍のゴルジ野にみられる<sup>(8)</sup>。

■ クローン名: JCM182

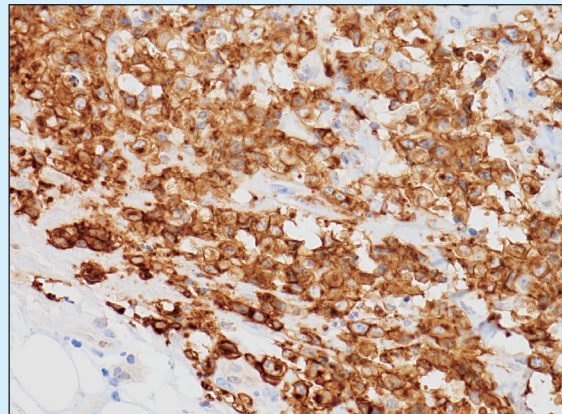
前処理(抗原賦活化)として「抗原賦活化液 pH9」(コード: 415201 またはコード: 415211) を用いた温浴処理が必要です。

## 染色データ

## ■ CD30 (JCM182) モノクローナル抗体



■ ホジキンリンパ腫: 腫瘍細胞の細胞膜およびゴルジ野に一致して陽性反応を示す。\*pH9 温浴処理 (+)



■ 未分化大細胞型リンパ腫: 腫瘍細胞の細胞膜およびゴルジ野に一致して陽性反応を示す。\*pH9 温浴処理 (+)

使用キット: シンプルステイン MAX-PO (MULTI)、DAB 基質キット \* 抗原賦活化液 pH9 (Code: 415201、415211)

## 参考文献の紹介

●CD30の発現は、悪性リンパ腫において、成熟B細胞腫瘍の15～20%、成熟T細胞腫瘍の約30%で確認されています。特に、古典的ホジキンリンパ腫と未分化大細胞型リンパ腫では高発現しており、これらの鑑別診断に有用と報告されています。また、CD30は、標的療法の分野で重要な分子として注目されており、CD30をターゲットとする治療薬が開発されていると報告されています。(7)

●古典的ホジキンリンパ腫との鑑別において、有用なマーカーが紹介されています。(9)

	NLPHL *1	THRLBCL *2	CHL *3	DLBCL *4	ALCL *5
CD30	— (rarely+)	—/+	+	—/+	+
CD15	— (rarely+)	—	+	—	—
CD20	+	+	—/+	+	—
PAX5	+	+	+ (weak)	+	—
OCT2/BOB1	both +	both +	rarely both +*	both +	n/a ***
EMA	+/-	+/-	— (rarely weak+)	—/+	+/-
CMs**	—	—	—/+	—	+
EBER	— (rarely+)	—	+/-	—/+	—

※参考文献(9)表1(275ページ)より改編

\*OCT2/BOB1の発現は通常—/—、—/+ or +/-であり、+/+は例外的である

\*\*CMs: cytotoxic molecules (細胞障害性分子) (granzyme B, TIA-1, perforin など)

\*\*\*not applicable

\*1 NLPHL: Nodular lymphocyte predominant Hodgkin lymphoma (結節性リンパ球優位型ホジキンリンパ腫)

\*2 THRLBCL: T-cell/histiocyte-rich large B-cell lymphoma (T細胞/組織球豊富型大細胞型B細胞リンパ腫)

\*3 CHL: Classic Hodgkin lymphoma (古典的ホジキンリンパ腫)

\*4 DLBCL: Diffuse large B-cell lymphoma (びまん性大細胞型B細胞リンパ腫)

\*5 ALCL: Anaplastic large cell lymphoma (未分化大細胞型リンパ腫)

●CD117(c-kit)とCD30の免疫染色を組み合わせることで、セミノーマと胎児性癌の鑑別に有用であると報告されています。(6)

Table 1 Results of immunohistochemical staining

	CD117	CD30
Seminoma セミノーマ(精上皮腫)	— (3/32) + (4/32) ++ (5/32) +++ (20/32)	— (30/32) + (2/32)
Embryonal carcinoma 胎児性癌	— (13/14) + (1/14)	— (2/14) + (2/14) ++ (2/14) +++ (8/14)

※参考文献(6)より改編

※セミノーマ(25例)、胎児性癌(7例)

セミノーマと胎児性癌の混合型胚細胞腫瘍(7例)

## 参考文献

- (1) Mechtersheimer G., et al: Cancer 66(8) 1732-1737, 1990
- (2) Falini B., et al: BLOOD 85(1): 1-14, 1995
- (3) Stein H., et al: BLOOD 96(12): 3681-3695, 2000
- (4) Flavell KJ., et al: Mol Pathol. 53(5): 262-269, 2000
- (5) Durkop H., et al: J Pathol. 190(5): 613-618, 2000
- (6) Leroy X., et al: J Histochem Cytochem. 50(2): 283-285, 2002
- (7) Sotomayor EM, Young KH, Younes A: Clin Adv Hematol Oncol. 12(4 Suppl 10): 1-22, 2014
- (8) D.J. Dabbs: Diagnostic Immunohistochemistry, 5th ed.: ELSEVIER: 162, 2018
- (9) 中村 栄男 他: リンパ腫アトラス第5版: 文光堂: 273-283, 2018

価格はメーカー希望小売価格で表示しております。なお、この価格には、消費税は含まれておりません。

## 製造販売元 株式会社ニチレイバイオサイエンス

本 社 〒104-8402  
東京都中央区築地6-19-20  
TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

関西支所 〒530-0043  
大阪市北区天満1-3-21  
TEL. 06(6357)2128 FAX. 06(6357)2330

学術問合せ TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

ホームページ <http://www.nichirei.co.jp/bio/>